



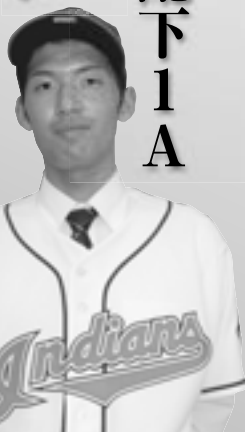
メジャーリーグに挑む!

①

クリーブランド・インディアンズ支配下1A

中村尚史 投手(2010年卒)

の闘い



マイナーのルーキーリーグからメジャーリーグに挑む。その頂への道のりは高く険しい。しかし、「絶対に後悔はしたくない」という秘めた闘争心は、熱く燃えている。中央大学硬式野球部出身の中村尚史投手(2010年法学部卒)の「夢」への挑戦は、周囲に大きな勇気を与えてくれる。1930年創部の中大野球部初のメジャーリーガー誕生なるか!。中村投手の奮闘ぶりを追う。

(聞き書き・構成 編集長 伊藤博)

② まさかのオフアー

メジャーリーグのクリーブランド・インディアンスのスカウトが、僕を見に来ていると知ったのは、大学4年、2009年春のリーグ戦のときでした。僕は知らなかったんですが、立正大学との3戦目に先発したときに来ていて、試合が終わったあとにマネージャーから聞かされて、初めて知りました。

高橋善正監督からは、次の日に監督室に呼ばれて、スカウトの人の名刺を見せられて、「こういうところから来ているけど、お前にはまだ早い

な」って言われました(笑)。

その瞬間は、やったというか。もちろんインディアンズは知っていますし、小学3年のとき、MLBのオールスターで野茂英雄さん(注:日本人2人目のメジャーリーガー)が先発したので、テレビで見て、すごいと思ったことがあったので、そのメジャーリーグのチームから自分を見に来てくれるなんて、すごいなって思いました。

でも、実感はなかったです。もともと日本のプロ野球を目指していて、メジャーを考えるとというのは、現実味のある話ではないですから。まず、日本のプロ野球に行つて、そこで成功してアメリカ

力に行くというのが普通じゃないですか。直接、アメリカに行くという想像は出来てなかったです。だから、茶化しに来たのかな、と思つて(笑)。

③ 熟慮・決断

夏休みに監督室に呼ばれて、監督さんから「お前、社会人とプロ、どっちに行くんだ」って聞かれたんです。「お前の今の成績で、プロでとつてくれるところはないぞ。社会人に決めた方がいい」って監督さんに言われたんです。しかも「決めたらインディアンズも断っちゃうから」と言われて、そのときは自分も社会人に行くのになつて思つていて、「じゃあ、社会人をお願いします」と言つたんです。

でも、プロ野球選手になるのは小さいころからの夢じゃないですか。それで、その日に考え始めたんです。やっぱりプロ野球選手になりたい。社会人野球が決して悪いというわけではないですが、自分の場合、性格みたいなもので、社会人に行つて、お金をもらつて安定して、普通の暮らしができて、「これでいいや」と思つてしまふ気がしたんです。社会人に入つても上を目指して行けるような人間だったら、いいと思うんですが、自分の場合は、このまま社会人に行つたら、たぶんだめだと思つたんです。日本のプロ野球がだめなら、メジャー



マホーニング・バレー（所属チーム名）での公式戦

インディアンスの資料が並べられて、「Welcome to Indians, Takafumi Nakamura」と書いてあります。それがドラフトの次の夜の夜でした。

マイナーリーグに対する知識ですか？それまで知識は無かったです。想像ですよ。野球も荒い野球をしていて、施設もボロボロで、でもみんなメジャーリーグに上がりたいからガッツリと野球をやっている、そんなイメージでした。インディア

ンスのことやマイナーリーグの情報は、契約までの間に、スカウトの人とご飯食べに行ったりしたときに、いろいろ聞いて、情報をいただいたりしました。

高橋監督に、勇気を出して「インディアンスに行きます」と言ったときに、人生のターニングポイントですね。本当に。考えたのは1、2時間です。もし30年後、50年後に自分が死ぬときに、あの人に（アメリカ）に行っていたら、どうなっていたんだろう、と思いたくなかった。死ぬときに、あの人に[あ](#)あしていたら、どうなっていたんだろう、と悔いを残すのが嫌だった。やってみないとわからない。それで行こうと決めました。

氣負いですか？氣負いは別にはないですが、もし自分がメジャーに行けたら、それをアピールできるというか、そういう気持ちはあります。卒業してから、箱根駅伝を見ているそうですが、中が大良かったって思います。俺は中大なんだ、という意識があります。

① 独り発ち

2010年3月6日にアメリカに発ちました。監督さんからは、中大の野球部が2月にキャンプに行くときに、もう会えなくなるので、「頑張れよ」

と言われただけです。契約のときに監督さんからは「とりあえず3年は死ぬ気で頑張れ」と言われました。「それでだめだったら、帰ってきて勉強すればいいんだ」と。

成田を発つときは、家族と中学高校の同級生、中大の関係者の方々が見送ってくれました。ありがたかったです。でも、ゲートをくぐって、飛行機を待っているときはすごく寂しかったですね。もう一人なんだと。あときは本当に寂しかったです。

親父や母ですか？親父はちよつと泣いていました。たぶん家族だけだったら自分もやばかった、と思います。周りに友達がいまいましたから、「失礼します」と言って発つたんです。サンフランシスコ経由でアリゾナに行つたんですが、機中では別に「ああ、もう乗っちゃった」と思つて覚悟を決めていました。

現地では、インディアンスの人が迎えに来てくれて、「Takamura Takafumi」と書いたのを持って待っている、と言われていたんです。ところがアリゾナのフェニックス空港に着いたら、誰もいないんです。というのは自分の乗った飛行機が1時間遅れて、それでいなくなつたらしいんです（笑）。でも、自分は何もわからないので、空港で2時間くらい待つたんです。

①半ベソ①

「ただど誰も来なくて、日本に帰りたいと思っ
て、もう半ベソですよ。ここからどうしてい
いのか分からないし、でも、日本に帰っちゃうわ
けにはいけないじゃないですか。それで半ベソで、
とりあえずタクシーに乗って、インディアンスが
スプリングトレニングするグラウンドの住所を
もらっていたので、その住所を見せました。タ
クシーの運転手は「分かった」と言ったのに、乗っ
て1時間くらい経ってから、「分からない」って
言い始めたんです(笑)。

「ここでいいか」とか言われて、まったく分か
らない場所に降ろされて、65ドル払わされまし
た。それで大きなスーツケースを2個持って歩い
たんですよ。途中で人がいたので、グラウンドの場
所を聞いたなら、「すごく遠いよ」と言われて、でも、
まあ歩いていたら着くだろうと思って、歩いてい
たら、さっきの人が車できて、「乗せていってや
るよ」と言って、乗せていってくれたんです。そ
れでやっとグラウンドに着いたんです。あのときは
行方不明になるんじゃないか、と本当に思いまし
た。

着いたら、「なんでお前、タクシーで来たんだ」
みたいに言われて、「迎えに来ていなかった」と

言ったら、「それはおかしい。そんなことない」
と言い始めて。でも、「そういえば飛行機が1時
間遅れたんだ。じゃあ、しようがないね」って。待つ
ていて欲しいですよ。こっちは2時間も待つて
いたのに、あつちは1時間しか待つていなかった
んですから…。その日の夜はぐっすりでした、も
う本当に…(笑)。

①ビッグな環境①

スプリングトレニングの練習は、即練習では
なくて、1日目にフィジカルチェックがあつて、
レントゲン撮ったり、体脂肪計ったり。その次の
日に体力チェックをして、練習は着いて3日目か
らでした。

マイナーリーグのランクは、3A、2A、そ
して1AはハイA、ローA、ショートシーズンの
3ランクあつて、その下のルーキー、ドミニカま
で7段階あります。ドミニカはアカデミーのよう
なもので、中南米の選手とか、日本人もときどき
参加したりしています。自分は、ルーキーリー
グからスタートしました。スプリングトレ
ニングは、想像していたのとは違っていましたね。
実際にキャンプ地の施設はすごいです。半端
じゃないです。日本とは比べものにならないで
す。グラウンド見た時は、感動しましたね、本当に。



マホーニング・バレーのホーム球場

野球場が6面もあつて、天然芝がピシヤッと刈
られていて、ものすごくきれいなんです。内野だ
けの球場が2面あつて、それに大きな室内練習場
が2つあつて、ウエートトレニングをする大き
な建物があつて。大きい食堂が一つあつて、すご
かったです。
大リーグもキャンプをするところは一緒です。
メジャーリーグとマイナーリーグのロッカール
ムが、少し分かれているだけです。ジムはメジャ
ーもマイナーも使うところは一緒です。有名なグレ

イディ・サイズモア選手（注：インディアンスの看板バッター）とか、WBCのときに韓国3番を打って、今、インディアンスで5番を打っている韓国のチュ・シンス（秋信守）選手とか、そういった大リーガーが自分たちのすぐそばにいるんです。自分も初めは英語しゃべれなかつたんですが、チュ・シンスは、日本語で「コンニチハ」と言うて来て、サイズモアを紹介してくれたことがあるんですよ。アメリカの文化なのかもしれないですが、メジャーリーガーは、アメリカでもトップ選手じゃないですか。その人が自分と対等にしゃべって、普通にジョークを言うて笑うし、それはすごいなと思いますよね。フレンドリーなんですよ。

① 自主性

トレーニングは楽でした。大学の練習より全然楽でした。投内連係（投手と内野手の連係プレー）はぶつ通して3時間やつたりしますが、3時間やつたら、その日はもうそれで終わります。練習は9時から始めて、12時で終わります。長くても午後1時ですね。そのあとに試合をやって、3時、4時。試合に出ない人はそのまま帰っていいんです。だから、練習はすごく楽でした。

ただ、大学の時と比べて、これでいいのかなと

は思いましたね。それで、練習が終わってからの練習はしてはいけないので、練習がはじまる前に自分で練習しておかないといけない。朝5時からいにグラウンドに行つてご飯を食べて、6時から自主練習を3時間する。それから全体練習をして終わりという感じです。スプリングトレーニング中はずっとそうでした。

自主練は、ボールは投げないで、走つたりとか重いボールを使つて腹筋を鍛えたりとか、そうした筋トレをやります。朝4時からトレーナーが来ていて、こういうことをやりたいと言うと、指導してくれるんです。

ただアメリカのコーチは、こちらから聞かないと何も言つてきません。「カーブよりストレートをいっぱい投げた方がいいよ」とか、そういうことは言つてきますが、細かいことは選手の方から聞きに行かないとだめなんです。自分から聞きに行けば、段々コーチからも言つてくれるようになるんです。

僕は練習で良いと思つたこと、悪いと思つたことを毎日、ノートに書いていました。はじめは英語があまりしゃべれなかつたので、夜のうちにパソコンで英語に翻訳しておいて、それをコーチに見せていました。自分から、こういうことを考えているということをコーチに伝えると、

コーチが集中して見てくれます。だから、別にか聞くというのは、そんな怖いとは思わなかつたです。英語はしゃべれないですけど、野球なので何とかなると思つて聞きました。

◎ 厳しい競争 ◎

スプリングトレーニング中にクビになる選手もいます。話には聞いていましたが、それはもうビックリしましたね。始まって10日目くらいの日の朝、自主練が終わつて、ソーシャルセキュリティカードを作りに行つて帰つてきたら、朝9時半くらいに、知つている選手が5人、大きな荷物を持つてバンに乗ろうとしていたんです。「どうしたの？」つて聞いたら、「頑張れよ」と言われて、握手されたので、よく分からないまま、自分も「頑張れよ」と言つたんです。それで、その日の練習が終わつたあとに、「あれ何だったの？」つて聞いたら、「クビだ」と。

3年目くらいで切られるんです。短くて2年です。1年目が悪くても次の年には切られない。だいたい2年連続で悪いと切られます。スプリングトレーニングが終わるまでに、全部で200人くらいいるなかで、40〜50人の選手が切られます。ロッカールームで僕の隣の選手が、朝来たらクビになって、泣いていたというこ



スプリングトレーニング・アリゾナのロッカールーム

とがありました。それはもう気が引き締まります。
ロウAで60〜70%、ハイAで残り10%くら
いがクビにされます。2Aに上がれば、
だいぶメジャーが近いんですが、ハイAから2A
に上がるときが難しいんです。日本にいたときは、
3Aで日本の2軍くらいかと思っていたんですが、
3Aはメジャーとほぼ一緒。ちよつと落ちる
くらいで、2Aが2軍だと思えます。

①生活・食事①

給料は、1Aにいれば1カ月で9万円。3Aに
いれば、日本円で1カ月27万円くらいです。自分
の**最初の給料は4200ドル**でした。キャンプ
中は給料が出ません。キャンプ中は、
ミール代として1日12ドルしか出ない
です。4月からルーキーリーグの練習
というか、スプリングトレーニングの
エクステンデッドと言うんですが、そ
のときに初めて給料が出るんです。

4200ドルは、今だと3万5000
円弱ですか。それがシーズンに入る6
月まで続きました。6月からは800
ドルもらつて、そこからアパート代を
200ドル払うと、残りは600ドル
です。自分は、昨シーズンの終わり近
くに、1Aのランクが一つ上がってロ
ウAになったので、給料がちよつと上
がりました。でもわずか10ドル、20ド
ルくらいです。

生活ですか？別に遊びに行ったりも
しないし、野球しかないので…。ア
パートではテレビも見ないし、お金を
使うにしても、みんなでビールを買っ



アパートはチームメイトと部屋をシェア

てきて飲むくらいです。あとはパソコンをしてい
るだけで、お金は食費しかからないので、別に
生活は苦しくないです。
食費は毎日10ドル以内に抑えるようにして
いました。朝と昼はチームから食事が出ます。夜



遠征先のホテルでチームメイトと

は試合が終わってから、自分で食べるんですが、レストランに行つて10ドルの食事を頼んでもチップで2ドル取られるので、12ドルじゃないですか。だから一番安いのを頼んで、チップを入れて9ドルです。でも9ドルって高いじゃないですか。だったら、ファストフードに行つて、ガッツリ食べても6ドル、7ドルでおさまる。だから、行

くのはだいたいファストフードですね。それでルーキーリーグは、通称ハンバーガー・リーグと呼ばれるんです。でもクラブハウスのご飯に野菜がいっぱい出るので、そこで野菜、フルーツを食べまくっています。クラブハウスで出される食事は、ほとんどがチキンとターキー、鶏肉だけです。牛とか豚は脂質が多くて、あまりいいたんぱく質

ではないので、チキンとターキーしか出ないです。

日本の選手はすごい食生活に気を付けていますが、そんなこと言つていられないです。一度、遠征先でレストランに入ったら食中毒になつて(笑)。チキンとシユリンプを食べたら、その次の日の朝に嘔吐して、食当たりで2日間動けなかつたです。

① ストレス ②

体重ですか？昨年の1シーズン終えて、7〜8キロ痩せました。

アメリカの食事は、油っ濃いのですぐお腹いっぱいになっちゃう。でもアメリカ人の誰よりも食べていましたよ。友達とチキンウィングの食べ放題に行つて、自分がダントツの

一番でした。でも痩せましたね。何ですかね。緊張とかじゃないですか。しゃべれないし、ストレスもあるじゃないですか、やっぱり。7月、8月は、いろいろなことに対してイライラしていましたから、ちよつとしたことで怒つたりとか。

人種差別されるのって初めてじゃないですか。それが思ったよりきつかったですね。初めは差別されても、まあ別に、という感じだったんですけど、段々にふざけんとか畜生つて思つたりしました。だから絶対に、野球で負かしてやるつて、考えがいい方に作用しましたね。でもストレスにはなりました。そういうことで少し痩せたんだと思うんです

日本にいるときは、日本人であることを意識しないじゃないですか。でもアメリカに行つたら、日本人は外国人だし、自分のチームの中には10カ国の選手がいて、日本人は自分ひとりだけで、強烈に俺は日本人だというふうに思いました。いろいろな国の選手をみて、日本人つてすごいなつて思つたし、日本人で良かったつて思いました。

アメリカは夢があるし、すごく好きです。昨年1シーズンやつてみて、日本人であることを意識できたし、外から客観的に日本人というのを考えられたので、すごく良かったと思います。

(夏季号に続く)